



2022年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月13日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL <https://www.fixstars.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第2四半期の連結業績 (2021年10月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第2四半期	3,014	9.2	868	86.2	868	89.2	535	99.7
2021年9月期第2四半期	2,761	△6.3	466	△28.5	458	△29.5	268	△32.9

(注) 包括利益 2022年9月期第2四半期 594百万円 (104.5%) 2021年9月期第2四半期 290百万円 (△31.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第2四半期	16.51	-
2021年9月期第2四半期	8.19	8.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期第2四半期	7,507	3,932	50.2	117.15
2021年9月期	7,396	3,642	47.8	108.68

(参考) 自己資本 2022年9月期第2四半期 3,765百万円 2021年9月期 3,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2022年9月期	-	0.00	-	-	-
2022年9月期 (予想)	-	-	-	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	18.1	1,100	13.2	1,100	14.6	700	28.9	21.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー
なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社Fixstars Amplifyを第1四半期連結会計期間において設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期2Q	33,635,000株	2021年9月期	33,635,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期2Q	1,491,959株	2021年9月期	1,120,459株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期2Q	32,440,885株	2021年9月期2Q	32,762,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から正常化する動きの中で、半導体不足やウクライナ情勢の動向等の影響が懸念される状況であります。これは世界経済においても同様であり、全体として先行きは非常に不透明なものとなっております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現するソフトウェア及びハードウェア等を提供するとともに、これらの知見がより広く社会に活用されることを目指し、新規SaaS事業の展開を行っております。

主力のSolution事業では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。その他においても、高速化サービスに対する旺盛な需要を背景に、日本国内の製造業向け案件を中心として安定的な収益を獲得しております。

SaaS事業においては、量子コンピュータ向けプログラムの開発・実行プラットフォーム「Fixstars Amplify」、AIコードレビュー「Sider」、乳がんAI画像診断支援事業等の開発を進めております。

また、海外においては米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,014,874千円（前年同期比9.2%増）、営業利益868,291千円（前年同期比86.2%増）、経常利益868,286千円（前年同期比89.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益535,717千円（前年同期比99.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

①Solution事業

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。Life Scienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援、Industrialの分野では産業機器等におけるマシンビジョンシステムの高速化支援等を提供しております。

この結果、売上高は、2,933,289千円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益（営業利益）は、1,004,281千円（前年同期比34.4%増）となりました。

②SaaS事業

各SaaS事業において、将来の収益獲得に向けて積極的な投資・開発を行っておりますが、GENESIS事業において補助金による研究開発を早期終了した影響で、補助金の確定額を当第2四半期連結累計期間において計上し、一時的に損失の額が減少しております。

この結果、売上高は、81,585千円（前年同期比118.6%増）、セグメント損失（営業損失）は、135,990千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）280,897千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて110,964千円増加し、7,507,112千円となりました。これは、売上の拡大等に伴い売掛金が139,600千円増加したこと等が主な要因であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて179,058千円減少し、3,574,302千円となりました。これは、返済により長期借入金が397,998千円減少したこと等が主な要因であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて290,023千円増加し、3,932,810千円となりました。これは、自己株式が263,610千円増加した一方で、利益剰余金が381,906千円増加したこと等が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13,132千円減少し、4,668,068千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は735,425千円（前年同期比92.2%増）となりました。税金等調整前四半期純利益858,986千円、売上債権の増加（△131,107千円）、法人税等の支払（△192,010千円）等の要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は35,485千円（前年同期比90.6%減）となりました。これは主に、開発機材等の有形固定資産の取得による支出（△22,752千円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は753,557千円（前年同期比6.0%減）となりました。これは主に、配当金の支払額（△162,065千円）、自己株式の取得による支出（△291,600千円）、長期借入金の返済による支出（△397,998千円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の業績予想につきましては、2021年11月12日付の「2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,681,200	4,668,068
電子記録債権	41,723	—
売掛金	1,662,360	1,801,961
契約資産	—	40,559
棚卸資産	9,491	13,592
その他	41,514	66,940
流動資産合計	6,436,290	6,591,121
固定資産		
有形固定資産	452,640	405,814
無形固定資産		
その他	2,411	3,497
無形固定資産合計	2,411	3,497
投資その他の資産		
投資有価証券	47,209	47,909
繰延税金資産	99,653	107,524
敷金及び保証金	357,942	351,245
投資その他の資産合計	504,805	506,678
固定資産合計	959,857	915,990
資産合計	7,396,148	7,507,112
負債の部		
流動負債		
買掛金	156,244	170,579
1年内返済予定の長期借入金	795,996	795,996
契約負債	—	1,589
未払法人税等	206,096	333,004
賞与引当金	54,741	57,552
その他	431,110	520,454
流動負債合計	1,644,189	1,879,176
固定負債		
長期借入金	2,085,010	1,687,012
その他	24,161	8,113
固定負債合計	2,109,171	1,695,125
負債合計	3,753,361	3,574,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,468	554,468
資本剰余金	477,060	543,917
利益剰余金	3,608,002	3,989,909
自己株式	△1,100,399	△1,364,010
株主資本合計	3,539,131	3,724,284
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,415	41,226
その他の包括利益累計額合計	△5,415	41,226
非支配株主持分	109,071	167,299
純資産合計	3,642,787	3,932,810
負債純資産合計	7,396,148	7,507,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
売上高	2,761,602	3,014,874
売上原価	1,611,999	1,489,586
売上総利益	1,149,602	1,525,287
販売費及び一般管理費	683,299	656,996
営業利益	466,303	868,291
営業外収益		
未払配当金除斥益	125	750
受取賃貸料	252	463
助成金収入	332	820
為替差益	—	1,279
その他	72	321
営業外収益合計	782	3,634
営業外費用		
支払利息	4,487	3,300
為替差損	2,289	—
その他	1,386	339
営業外費用合計	8,163	3,639
経常利益	458,922	868,286
特別損失		
投資有価証券評価損	—	9,300
特別損失合計	—	9,300
税金等調整前四半期純利益	458,922	858,986
法人税、住民税及び事業税	194,817	323,393
法人税等調整額	△3,921	△12,168
法人税等合計	190,896	311,224
四半期純利益	268,026	547,761
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△259	12,044
親会社株主に帰属する四半期純利益	268,285	535,717

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	268,026	547,761
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	22,587	46,642
その他の包括利益合計	22,587	46,642
四半期包括利益	290,614	594,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,873	582,359
非支配株主に係る四半期包括利益	△259	12,044

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	458,922	858,986
減価償却費	19,311	70,428
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,694	2,050
投資有価証券評価損益(△は益)	—	9,300
受取利息及び受取配当金	△18	△22
支払利息	4,487	3,300
為替差損益(△は益)	1,956	△628
売上債権の増減額(△は増加)	124,617	△131,107
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,467	△4,032
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,098	15,488
その他	94,902	106,868
小計	632,919	930,632
利息及び配当金の受取額	18	22
利息の支払額	△4,369	△3,219
法人税等の支払額	△245,915	△192,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,652	735,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△197,572	△22,752
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△182,397	△1,313
その他	1,054	△1,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,915	△35,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△397,998	△397,998
株式の発行による収入	1,200	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	120,000
自己株式の取得による支出	△196,319	△291,600
配当金の支払額	△196,112	△162,065
非支配株主への配当金の支払額	△5,291	△4,541
その他	△7,462	△17,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△801,985	△753,557
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,751	40,485
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△781,496	△13,132
現金及び現金同等物の期首残高	5,593,009	4,681,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,811,512	4,668,068

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、受注制作のソフトウェア開発契約等に関して、工期がごく短いもの及び当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められないものについては工事完成基準を、その他のものについては工事進行基準を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、一定の期間にわたり充足される履行義務については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき一定の期間にわたり収益を認識することといたしました。履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、工事原価総額に占める発生原価の割合によるインプット法にて算出しております。なお、収益認識基準適用指針第96項に定める代替的な取扱いを適用し、ソフトウェアの開発・高速化サービスにおいて、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い場合には、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

また、主にSolution事業におけるハードウェア販売案件において、本人・代理人の検討の結果、大半の案件について代理人に該当したため、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は218,080千円減少、売上原価は219,938千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,857千円増加しております。また、利益剰余金の当期末残高は8,762千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「売掛金」と「契約資産」に区分して表示しております。また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に含めて表示していた「前受収益」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症に関する影響等について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	Solution事業	SaaS事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,724,285	37,316	2,761,602
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,724,285	37,316	2,761,602
セグメント利益又は損失(△)	747,200	△280,897	466,303

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	Solution事業	SaaS事業	
売上高			
一時点で移転される財	2,729,689	50,899	2,780,588
一定の期間にわたり移転される財	203,600	30,685	234,286
顧客との契約から生じる収益	2,933,289	81,585	3,014,874
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,933,289	81,585	3,014,874
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,933,289	81,585	3,014,874
セグメント利益又は損失(△)	1,004,281	△135,990	868,291

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。